

2023

対象期間

(2023. 4. 1 ~ 2024. 3. 31)

エコアクション21

環境経営レポート



協同組合

倉敷市環境保全協会

作成日 : 2024. 9. 9

改訂日 : 2025. 1. 21

目 次

I	計画の策定 (P l a n)	
	1. 組織概要	1 頁
	2. 対象範囲	2 頁
	3. 環境経営方針	4 頁
	4. 環境経営目標	5 頁
II	環境経営計画の実施 (D o)	
	5. 環境経営計画	6 頁
III	取組状況の確認及び評価 (C h e c k)	
	6. 環境経営目標の取組結果	7 頁
	7. 取組結果と評価、次年度の取組み	7 頁
	8. 環境関連法規等の遵守状況及び違反訴訟等の有無	11 頁
IV	全体の評価と見直し (A c t i o n)	
	9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	12 頁



“私たちは、「快適な住環境づくり」を目指しています。”という創業理念のもと、持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、組合員並びに職員が様々なステークホルダーと連携し、持続可能な社会の実現に取り組めます。

1. 組織の概要

2023年度 環境経営レポート
2023年4月～2024年3月
発行日2024年9月9日

◇ 事業者名及び代表者名

協同組合 倉敷市環境保全協会
代表理事 岡 井 智 之

◇ 所在地

- ・本店 岡山県倉敷市新田2322番地の8
- ・JFEスチール西日本製鉄所 倉敷地区 構内作業所
岡山県倉敷市水島川崎通1丁目

◇ 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者名： 内藤 久明 (理事・事務局長)
担 当 者： 有信 知彦 (検査部部长)
連 絡 先： TEL 086-422-7371

◇ 事業内容

- ・浄化槽の清掃業務の共同受注
- ・濃度計量証明事業
- ・浄化槽の維持管理及び投薬業務
- ・産業廃棄物収集運搬業

◇ 事業規模

設 立 日： 1965年5月7日(昭和40年)
出 資 金： 1,000 万円
年間売上高： 83,836 万円(2023年度)

・本店

職 員 数 65 人 (常勤役員3名含む)
床 面 積 1,928.6 m²

・JFEスチール西日本製鉄所 倉敷地区 構内作業所

職 員 数 3 人

産業廃棄物収集運搬業許可：

- ・許可番号 岡山県 第03303006243号
- ・許可年月日 2023年 8月 2日(令和 5年)
- ・有効期限 2028年 7月28日(令和10年)
- ・種 類 汚泥、産業廃棄物処理物(コンクリート固化物)
- ・車 両 4t吸引車 1台
- ・積替保管 無
- ・運搬実績 45.68t (種類：汚泥 2023年度実績)

2. 対象範囲

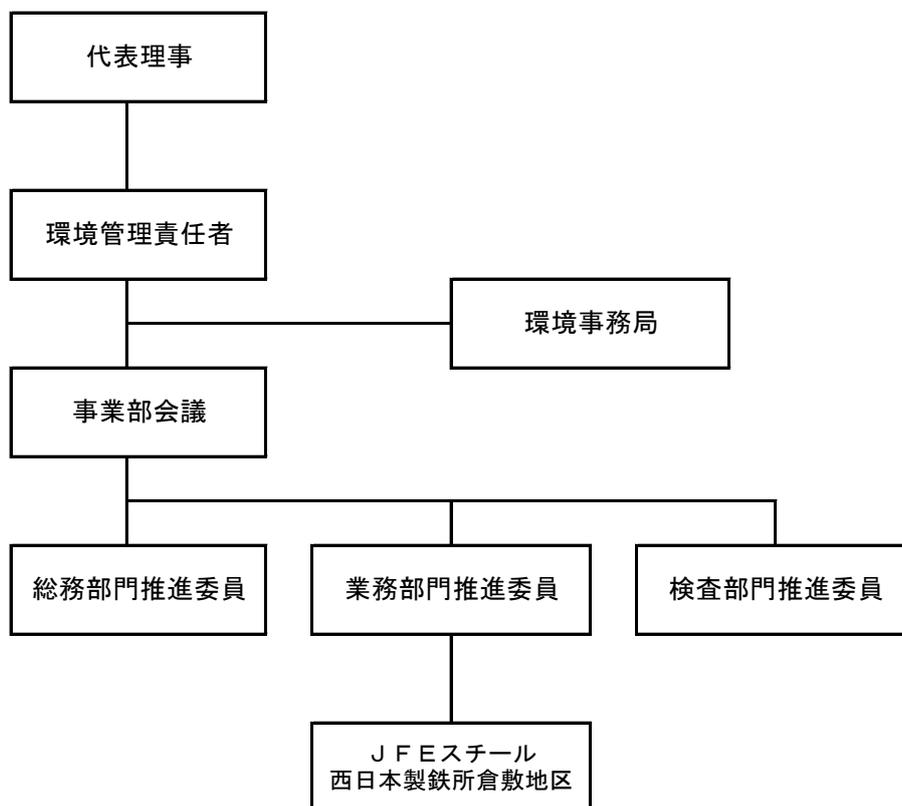
(1) 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 協同組合 倉敷市環境保全協会

J F E スチール西日本製鉄所 倉敷地区 構内作業所

活動： 浄化槽の清掃業務の共同受注、浄化槽の維持管理及び投薬業務、
濃度計量証明事業、産業廃棄物収集運搬業

(2) 実施体制



(3) 役割・責任・権限

所 属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 経営における課題とチャンスの明確化、環境経営方針の策定・見直し ・ 環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直し、指示 ・ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・ 環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐、の事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・ 環境活動の実績集計 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・ 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
事業部会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営計画の審議 ・ 環境活動実績の確認・評価
推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自事業部における環境経営方針の周知 ・ 自事業部の職員に対する教育訓練の実施 ・ 自事業部に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 自事業部に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・ 自事業部の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・ 試行・訓練を実施、記録の作成 ・ 事業部の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

《 創業理念 》

私たちは、「快適な住環境づくり」を目指しています。

《 環境経営方針 》

環境衛生の事業は、古くからの仕事ですが、今日の世論の高まり、関心の強さと社会に与える影響の大きさから国をあげての重要な事業と確信いたしております。

我国の生活状態も著しい変化がもたらされ快適な生活に対するニーズの高まりから生活環境の保全に次々と新しい問題が起きており、これは私たち人間の生産活動が生み出した結果であり、その解決に社会から大きな期待が寄せられています。

私たちを取り巻く環境は、地球温暖化、気候変動などの変化により、世界各地で未曾有の生活環境への被害が起きております。

このような背景の中で、当協会は、廃棄物の収集運搬の共同受注をはじめとし、水処理施設の維持管理、環境計量証明、リサイクル関連事業等の環境保全事業に真摯な努力を続けております。

今後、更に認識を深め社会的責任を果たすべく精進するとともに、今日まで培ってきたノウハウを基に、未来への快適な住環境づくりを推進してまいります。

＜ 環 境 宣 言 ＞

私たちは、環境問題に取り組むプロフェッショナルとして、環境負荷の低減を図り、持続可能で発展できる社会の実現を目指し、事業活動を通じて地域環境の保全に貢献します。

＜ 環境保全への行動指針 ＞

1. 環境関連法規制や当組合が約束したことを遵守します。
2. 環境経営目標・環境経営計画を定め、継続的な改善に取り組みます。
 - ① 電力及び燃料の二酸化炭素排出量削減に努めます。
 - ② 事業活動に伴う廃棄物排出量の削減に努めます。
 - ③ 廃棄物と有価物の分別を徹底し、再資源化に努めます。
 - ④ 水道水使用量の削減に努めます
 - ⑤ 化学物質の適正管理に努めます。
 - ⑥ 分析精度管理を適切に行い、信頼性の確保に努めます。
 - ⑦ 環境に関する啓発・教育活動を推進し、環境意識の向上に努めます。
 - ⑧ 地域環境美化活動の実施に努めます。
3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。
4. この環境経営方針を全職員に周知・徹底し、目標達成に努めます。

制定日：2017年4月1日

改訂日：2023年4月1日

協同組合 倉敷市環境保全協会

代表理事 岡井智之

4. 環境経営目標

① 中長期目標（2023年度～2026年度）

		2018年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
		(基準年度)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	226,316	224,505	224,279	224,053	223,827
	基準 年度比		-0.8%	-0.9%	-1.0%	-1.1%
	電力の 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	149,034	147,842	147,693	147,544
	基準 年度比		-0.8%	-0.9%	-1.0%	-1.1%
自動車燃料の 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	77,282	76,664	76,586	76,509	76,432
	基準 年度比		-0.8%	-0.9%	-1.0%	-1.1%
一般廃棄物の 削減	kg	4,393	4,358	4,353	4,349	4,345
	基準 年度比		-0.8%	-0.9%	-1.0%	-1.1%
産業廃棄物の 削減	kg	1,319	1,308	1,307	1,306	1,306
	基準 年度比	(※-3)	-0.8%	-0.9%	-1.0%	-1.0%
水道使用量の 削減	m ³	2,250	2,232	2,230	2,228	2,225
	基準 年度比		-0.8%	-0.9%	-1.0%	-1.1%
化学物質の 適正管理		適正管理に努める				
分析精度管理		適切な管理に努める				
環境に関する啓発・ 環境教育の推進		環境啓発紙等への協賛 環境イベントへの参加				

※-1 LNGは微量のため目標値の設定はしない。

-2 2018年度の産業廃棄物の排出実績がなかったため、2016年度、2017年度の平均値を使用。

-3 電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力㈱ 2018年度実績の調整後排出係数 0.636 kg-CO₂/kWh
を採用する。

5. 環境経営計画

実施期間：2023年4月1日～2024年3月31日

電力及び燃料の二酸化炭素排出量の削減

取組目標		活動内容
1	電気使用量の削減	・ 不必要な照明の消灯
		・ 不使用機器は主電源を切る
		・ エレベータの使用を控える
		・ 空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）
		・ クールビズ、ウォームビズの継続実施
		・ 空調機の定期的な点検を実施
2	自動車燃料使用量の削減	・ エコドライブの推進
		・ タイヤの空気圧を適正値に保つよう努める

廃棄物排出量の削減及び再資源化

取組目標		活動内容
1	一般廃棄物の削減	・ 文書の電子化
		・ 使用済み用紙、封筒の再利用
		・ 帳票見直しによる印刷物の削減
		・ 分別の徹底
		・ シュレッダー廃紙のリサイクル化
2	産業廃棄物の削減	・ 試薬使用量の適正管理

水使用量の削減

取組目標		活動内容
1	水道水使用量の削減	・ 日常的に節水を励行する
		・ 洗車を必要最小限に抑える
		・ 節水シール等による使用量削減の啓発

化学物質の適正管理

取組目標		活動内容
1	化学物質の適正管理の推進	・ 溶剤の揮発防止の徹底
		・ 有害性化学物質の保管量等の管理記録の作成
		・ SDSによる安全性に関する情報、適用法令の把握
		・ 漏洩事故発生時の対応措置の手順書作成

分析精度管理を適切に行い、信頼性の確保

取組目標		活動内容
1	分析精度の維持	・ 外部精度管理に参加し、正確性を確認
		・ 検査機器の定期的な点検整備による精度の維持

環境に配慮した事業活動

取組目標		活動内容
1	環境に関する啓発・教育の推進	・ 環境啓発紙等への協賛
		・ 環境イベント等への参加
2	地域環境美化活動を継続実施	・ 定期的な会社周辺の清掃活動

6. 当組合の環境活動とSDGsのつながり

SDGsのゴール・ターゲットと当組合の環境活動との結びつけにより、日常の取組みが、将来的なリスクの軽減につながる事が認識できると共に、課題に取り組む意識向上を図ります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

	二酸化炭素の排出量削減	廃棄物排出量削減	廃棄物の再資源化	水使用量の削減	化学物質の適正管理	環境教育活動等の取組み	地域貢献活動	
								3. すべての人に健康と福祉を
								4. 質の高い教育をみんなに
								6. 安全な水とトイレを世界中に
								7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
								8. 働きがいも経済成長も
								11. 住み続けられるまちづくりを
								12. つくる責任 つかう責任
								13. 気候変動に具体的な対策を
								14. 海の豊かさを守ろう
								15. 陸の豊かさを守ろう
								17. パートナリシップで目標を達成

7. 環境経営目標の取組結果

(1) 過年度実績

項目	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	219,130	230,370	219,925	197,167	183,574
電気使用量	kWh	220,170	241,014	230,202	214,422	195,825
ガソリン使用量	L	23,087	22,518	22,148	22,984	22,483
LNG使用量	m ³	3,573	3,337	2,846	2,767	2,544
廃棄物排出量	kg	5,013	5,199	5,973	5,397	5,033
一般廃棄物排出量	kg	4,541	4,577	5,973	4,882	4,508
産業廃棄物排出量	kg	472	622	0	515	525
水道水使用量	m ³	2,209	2,030	1,638	1,474	1,317
化学物質使用量	kg	143	147	194	205	171
産業廃棄物の収集運搬量	t	7,277	7,601	7,551	69	45

※ 電力の二酸化炭素排出換算値 0.636 kg-CO₂/kWh(中国電力(株)2018年度実績の調整後排出係数)

※ 軽油実績は、2022年度一部事業撤退により実績数量が少量の為、実績には計上しないが、二酸化炭素排出量には含む。

※ 灯油使用量は少量のため実績には計上しないが、二酸化炭素総排出量には含む。

※ 一般廃棄物の排出量は、資源化量を引いた最終処分量としている。

※ 産業廃棄物の2021年度実績は、排出(収集・処分)していないため、実績値をゼロとしている。

(2) 2023年度における目標と実績

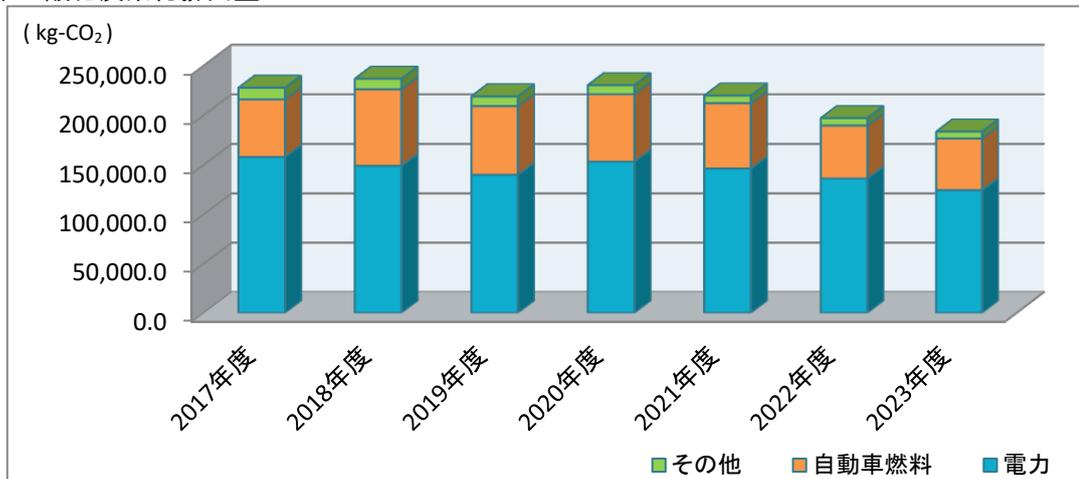
		基準値 (2018年度実績)	2023年度		評価
			(目標)	(実績)	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	226,316	224,505	176,706	○
	基準年比		99.2%	78.1%	
電力の 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	149,034	147,842	124,545	○
	基準年比		99.2%	83.6%	
自動車燃料の 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	77,282	76,664	52,161	○
	基準年比		99.2%	67.5%	
一般廃棄物の 削減	kg	4,393	4,358	4,508	△
	基準年比		99.2%	102.6%	
産業廃棄物の 削減	kg	1,319	1,308	525	○
	基準年比		99.2%	39.8%	
水道使用量の 削減	m ³	2,250	2,232	1,317	○
	基準年比		99.2%	58.5%	
化学物質の 適正管理		適正管理	適正管理	適正管理	○
分析精度管理		適切管理	適切管理	適切管理	○
環境に関する啓発・ 教育の推進			<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境啓発紙等への協賛 ・ 環境イベント等への参加 		○

※ 削減目標 ○=達成、△=努力したが未達成、×=未達成

8. 取組結果と評価、次年度の取組み

《二酸化炭素排出量削減》

◇二酸化炭素総排出量

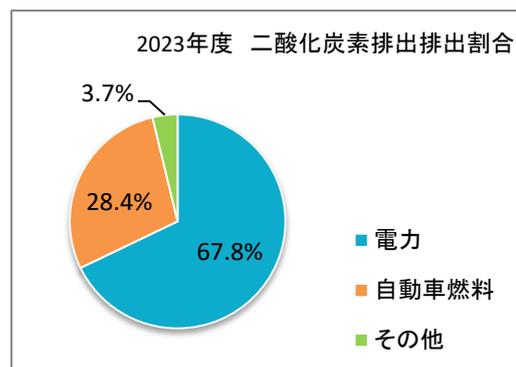


◇取組結果の評価

2023年度は2022年度から約6.9%減少することができた。

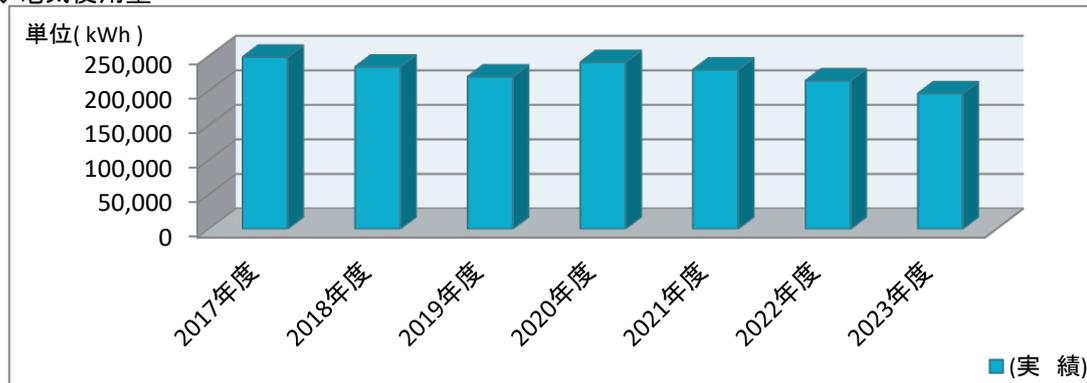
◇次年度の取組み

二酸化炭素排出割合の大きい電力使用量に注視し削減を推進し、二酸化炭素排出量の削減を目指します。



《電気使用量の削減》

◇電気使用量



◇取組結果の評価

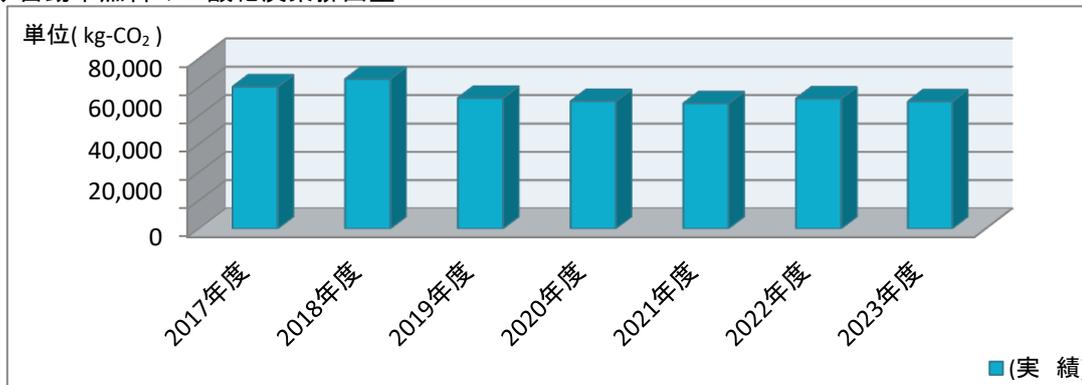
クールビズ、ウォームビズの取組みを継続すると共に、空調機の運転管理により使用量を削減できた。

◇次年度の取組み

引続き、クールビズ、ウォームビズの取組みによる温度管理を徹底し、使用量の削減に努める。

《自動車燃料の二酸化炭素排出量削減》

◇自動車燃料の二酸化炭素排出量



◇取組結果の評価

エコドライブの取組みや燃費管理により燃費の向上が図れた。

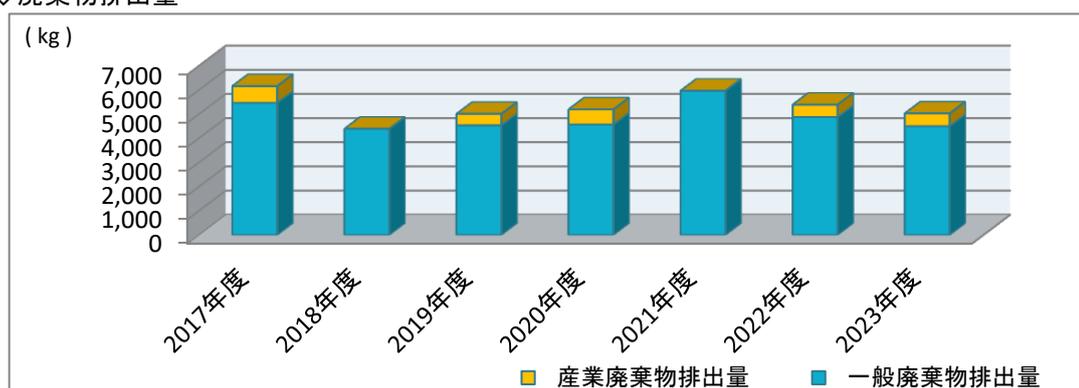
◇次年度の取組み

引続き、エコドライブの継続、燃費の見える化により燃費向上に努める。



《廃棄物排出量の削減》

◇廃棄物排出量



◇取組結果の評価

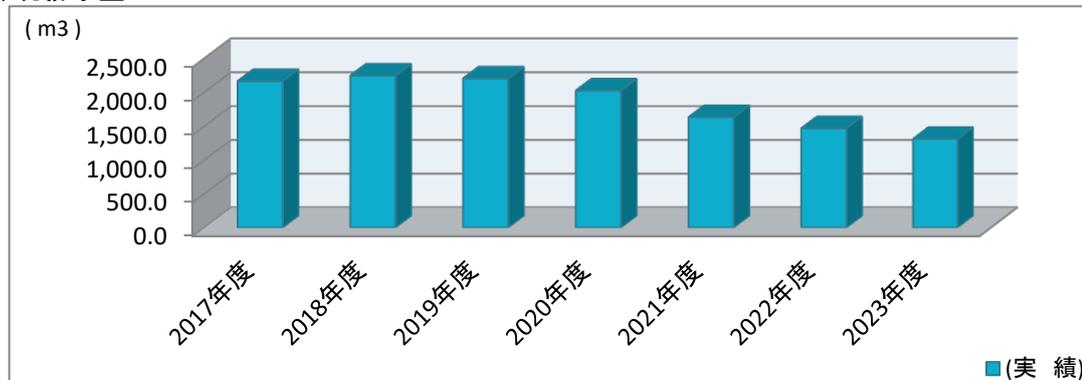
前期よりは減少したものの、ウイズコロナに対応すべく事務所内環境整備により一時的に一般廃棄物の排出量が増え目標達成に至らなかった。

◇次年度の取組み

一般廃棄物については、引続き分別を徹底し資源化に努め減量を図る。
産業廃棄物については、引続き試薬の適正管理に努める。

《水道使用量の削減》

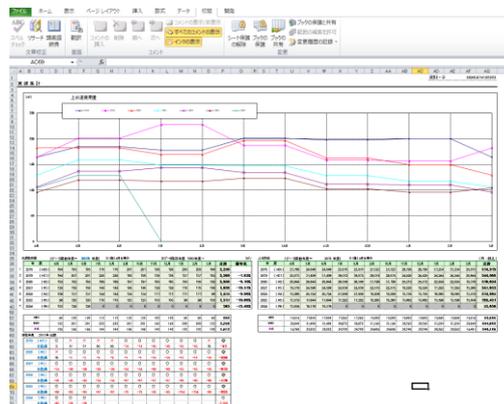
◇総排水量



◇取組結果の評価

目標達成

使用量の見える化による削減意識が向上している。



◇次年度の取組み

引き続き、経営計画に掲げた活動を継続する。

《化学物質の適正管理》

◇取組結果の評価

管理規程を遵守し適正な管理ができた。

◇次年度の取組み

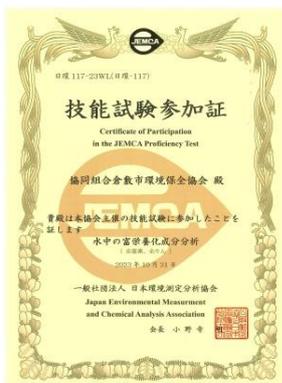
引き続き、管理規程を遵守し、使用量の把握、SDSにより取扱上の注意事項を把握し、適正管理に努める。

《分析精度管理》

◇取組結果の評価

適切に精度管理ができた。

環境省他関係団体が主催する精度管理に参加し、良好な結果を得ることができた。



◇次年度の取組み

引続き外部機関が主催する精度管理へ参加し、環境測定分析の信頼性の確保及び精度、測定分析能力の向上に努めます。

《環境に関する啓発・教育の推進》

◇取組結果の評価

- ・ 小中学生を対象とした環境保全啓発イベントに参加し、体験型ブースを出展し子供たちと楽しみながら環境について考えました。
- ・ 地域のクリーン作戦に参加した。



岡山市環境啓発イベント
日時：2023年11月5日
場所：イオンモール岡山



2023年度児島湖流域清掃大作戦
日時：2023年11月5日
場所：児島湖 締切堤防 4名
倉敷川 10名

◇次年度の取組み

独自の企画以外で実施される、関係先の環境イベント等にも積極的に参加する。

9. 環境関連法規等の遵守状況及び違反訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・委託基準の遵守 ・マニフェストの交付・確認・保存 ・マニフェストの交付等状況報告書の提出 ・特別管理産業廃棄物の管理責任者の設置 	○
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄施設、有害物質の使用特定施設の排水基準の遵守 ・有害物質の使用特定施設・貯蔵指定施設の定期点検・記録・保存 ・排水の自主検査 	○
悪臭防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・悪臭防止対策の推進 	○
消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・消防設備等の法定点検 ・防火管理者の選任 	○
下水道法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設及び有害物質の使用特定施設の届出 ・排水基準の遵守 ・放流水の水質監視 	○
浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・保守点検業の登録更新 	○
毒物及び劇物取締法	<ul style="list-style-type: none"> ・盗難、漏洩防止 ・容器、貯蔵場所に表示 ・毒物劇物取扱責任者の設置 ・試薬類を含む化学薬品(医療用外毒物及び劇物)の管理記録 	○
R I 規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線管理状況報告書の提出 ・放射線量の測定及び記録の保存 ・放射線取扱主任者の選任及び定期講習の受講 	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・業務用空調機の簡易点検 ・点検の記録簿の作成保管 	○
プラスチック資源循環法	<ul style="list-style-type: none"> ・マイボトル等を利用し、プラスチック製品の使用を削減 ・分別や洗浄し、リサイクルを徹底 	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されており違反は有りませんでした。

また、関係機関等からの指摘、関係者からの訴訟もありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

◇ 全体評価

項目	評価結果
環境経営システムが有効に機能しているか	問題なく有効に機能しています。
環境への取組みが適切に実施されているか	二酸化炭素排出量の削減、電力使用量の削減、自動車燃料の削減については、適切に取組が行われています。 一般廃棄物を除く数値目標は達成されています。
環境関連法規は、遵守されているか	法的義務を受ける主な環境関連法規一覧表で、遵守違反の無い事を確認しました。

◇ 変更・指示

対象	変更の内容・指示
環境経営方針	特にありません。
環境経営目標 環境経営計画	特にありません。
実施体制	特にありません。

◇ 総括

一般廃棄物の削減が未達成となっています。要因としては、ウイズコロナに対応すべく職場環境の整備によるもので、やむを得ないと考えます。

職員の環境意識も高まり、節水、エコドライブ等が実践できており、その他の項目については、計画を達成できており問題有りません。

今後も、職員一人ひとりが環境経営目標の達成とSDGsの目標推進に向けて行動してもらいたいと思います。

2024年7月30日

協同組合 倉敷市環境保全協会

代表理事 岡井智之

